INTERMOLD名古屋、金型展名古屋

金属プレス加工技術展名古屋、AM EXPO名古屋

あす開幕

最新ソリューションを提案

5月20―22日の3日間、日本金型工業会が主催する「INTERMOLD名古屋」「金型展名古屋」、日本金属プレス工業協会が主催する「金属プレス加工技術展名古屋」、日本AM協会が主催する「AM EXPO名古屋」が名古屋市港区のポートメッセなごやで同時開催される。4展示会の名古屋開催は2年ぶり。前回の来場者数は約3万9000人で、今回は4万人を見込む。入場料は3000円だが、来場登録し同登録証を持参すれば無料。

INTERMOLD名古屋、金型展名古屋、金属プレス加工技術展名古屋、AM EXPO名古屋の4展示会には397社・団体が627小間を出展し、独自の製品や技術を来場者に披露する。開催期間中の会場内では、基調講演や各主催団体による特別講演などのほか、テクニカルワークショップ、オープンセミナーなど多彩なプログラムが実施される。

20日の基調講演「すべての金型メーカーが3Dでつながる未来へ―共通化が生む新しいものづくり」ではトヨタ車体革新モノづくり部の奥田光正部長がモデレーター務める。マツダ技術本部ツーリング製作部の安楽健次部長、明星金属工業の上田幸司社長、ハヤシの岩本泰光専務らを迎え、金型に関する共通ガイドライン策定についての取り組みを紹介する。21日は「SUBARUのモノづくり革新を支えるプレス量産現場における3Dデジタル活用事例」と「ドローン・空飛ぶクルマの技術／市場／政策と関連する国内産業」、22日に「超ハイテン材を用いた自動車骨格部品統合における冷間プレス活用」などの特別講演を開催する。

また、特別企画展示では人型と車型に変形する乗用人型変形ロボット「SR―01」、日本金属プレス工業協会による次世代ヒューマノイドロボット「DOBOT ATOM」が特別展示される。

ポートメッセなごやのある愛知県は自動車産業を中心に製造業が集積する。それだけにモノづくりの技能や技術の次世代継承にも力を入れる。その中で、技能五輪の国内や国際大会に向け、多くの選手を養成し「試作モデル製作」や「自律移動ロボット」といった競技では連覇を果たすなど実績を上げてきた。脈々と引き継がれる技能や技術がある半面、技術革新が続く産業界での動きを背景に新たな競技も出てきた。

「AM職種」はこのうちの一つで「技能五輪国際大会AM職種への挑戦」と題した特別講演が22日に開かれる。

今展示会に先立って4月15日から3日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で開催されたINTERMOLD、金型展、金属プレス加工技術展には約3万3400人が訪れ、出展各社の製品や技術に高い感心が集まった。

出展者からは「大手企業からの具体的な引き合いにつながった」、「来場者が真剣に新しい製品や技術を探しに来ている」、「国内でも数社しかできない表面処理の一貫対応が評価されている」といった声が上がった。モノづくりが盛んな名古屋展でも盛況に期待がかかる。

有力企業の製品・技術

INTERMOLD名古屋

扶桑精工

ガラス瓶用金型で国内トップシェアを誇る扶桑精工は、「リバースエンジニアリング」と「アラッタくん」を紹介する。リバースエンジニアリングは図面のない部品でも現物から3次元（3D）スキャンなどで設計データを作成し、加工から製作、組み付けまで一貫対応するサービス。アラッタくんは金型や各種設備の水路に付着した錆やカルシウムを除去する洗浄機。これまで培ってきた金型・機械の設計、製作、組み付け技術を生かし、古い機械や金型の総合メンテナンス事業として、新規顧客の開拓に取り組む。

金型展名古屋

旭プレシジョン

旭プレシジョンはゴム・樹脂成形金型に採用されている、タングステン合金めっきニウフォスⅡを展開する。製品脱型時の離型性向上や離型剤使用量の低減が可能。ハロゲン系ガスへの耐食性を有する皮膜。金型の耐食性を高めつつ生産現場のコスト削減に貢献する。

同社は近年、ヒートサイクル向上を目的に採用が進む「ベリリウム銅」への施工や母材を粗化させない剥離技術を持つ。さらに高離型性の「レジフレム」や薄膜フッ素樹脂コーティング「テクノNACコート」による表面処理なども提案する。

INTERMOLD名古屋

コダマコーポレーション

コダマコーポレーションは「設計から製造までデータの一気通貫でものづくりを変える」をテーマに、統合されたコンピューター利用設計・製造（CAD／CAM）による金型設計・製作の効率化を提案する。

「TopSolidシリーズ」は2次元（2D）／3次元（3D）CAD、3軸／5軸CAM、マシンシミュレーションが統合されたシステム。内蔵の製品データ管理（PDM）システムによってすべてのデータが連動し、設計変更を後工程へ反映することで、手戻りやミスを抑えた金型づくりを実現する。

INTERMOLD名古屋

日本ジョイント

日本ジョイントは、複雑形状の金型やスクリューに付着する樹脂、ゴムなどの洗浄に多く採用されている伊ビカールジェット社製「ソビジェット」洗浄機を販売している。

人体や環境に無害な重曹をメディア（研磨剤）とするソフトブラスト洗浄機で、溶剤洗浄や高圧洗浄に代わるものとして注目されている。多くの顧客の洗浄効果の改善・作業時間の削減・製品品質の向上に貢献してきた。また顧客の用途に応じて、提案・設計・製造・設置工事を行っており、アフターフォローにも力を入れている。